

# 林修先生と学ぶ みんなの食料安全保障

世界情勢の激変で、日本の「食」のリスクが拡大しています。

日本の食料自給率は、わずか38%※。食料の約6割を、輸入に頼っているのです。そして今、日本の「食」は、ウクライナ情勢という新たなリスクに直面し、世界の食料価格の高騰に、さらに拍車がかかっています。「食料は、安く、いくらでも輸入できる」。そんな時代は、もう過去のものになったと言っても、過言ではないでしょう。  
※2021年・カロリーベース



日本の「食」と「農」を支え、未来につなぐ「国消国産」。

では、いざという時に食料が不足しないためにはどうすればよいのでしょうか。その答えを、JAグループは「国消国産」として提唱しています。「国消国産」とは、「国」民が必要として「消」費する食料は、できるだけ、その「国」で「生」産する、ということです。

適正な価格で「国消国産」を進める。それが「みんなの食料安全保障」。

生産者を支え、日本の「食」を未来につなぐために、私たちもまた意識を変えていくことが求められています。できるだけ国産のものを手に取り、食べることが、私たちにできる「国消国産」の実践であり、日本の生産者を応援することにつながります。それが私たち「みんなにできる食料安全保障」と言えるでしょう。

生産資材の高騰が続く、日本の農業は苦境に立たされています。

世界情勢の変化は今、農業の現場に、大きな問題をもたらしています。肥料、家畜の餌、燃料などの資材価格の高騰が、経営を直撃しているのです。このままでは農業を続けることが難しいという、生産者の皆さんの深刻な声も聞こえてきます。

「JAタウン」で旬の農産物を **今だけ送料無料**で。

<https://www.ja-town.com/shop/e/ekokusho/>

期間 2022年10月13日から11月末日まで

※既定数に達した場合、早く終了することがあります。



おいしい日本と暮らそう JAタウン



耕そう、大地と地域の未来。 JAグループ

2022 NOVEMBER

JA高知県



トップニュース

## JAグループ高知 資材価格高騰対策などを知事に要請

高知県農協農政会議とJA高知中央会の代表ら12人は9月20日、高知県庁で濱田省司知事、明神健夫県議会議長に対し、令和5年度の農業振興施策を要請。高知県農協農政会議の久岡隆会長（JA高知中央会会長）が濱田知事に要請書を手渡しました。

同会議の宮脇眞道副会長（JA高知市組合長）が生産現場の現状と課題を報告。要請では、資材価格高騰対策や園芸用ハウス整備事業の継続、農産物の価格転嫁など8項目をまとめました。

資材高騰対策では、肥料・燃油・飼料の高騰に関する県への支援を要請。県内生産者の負担を軽減する支援策の構築や、県独自の支援策の継続および粗飼料の安定的な確保を可能とするような事業の強化を求めました。

農産物の価格転嫁では、生産資材が高騰する一方で、農産物への価格転嫁ができていない状況を説明。食糧安全保障上の問題に発展することも危惧し、消費者に積極的に国産農産物を選んでもらえるような県民運動の検討を要請しました。

濱田知事は「農家の皆さまが安心して経営を継続できるよう、JAグループと協力し、支援制度を検討・構築する」と応じました。



濱田知事④に要請書を手渡す久岡会長⑤

11月 2022年

## JA健康寿命100歳プロジェクト ~薬剤師のワンポイントアドバイス~

### 美味しい高知県産野菜で免疫力アップ!

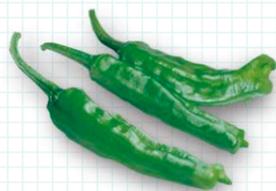
皆さん、こんにちは。いかがお過ごしでしょうか。まだまだ新型コロナウイルスの脅威が続いています。このようなウイルスや細菌などの外敵から、自分の体を守ってくれるのが、皆さんご存じの「免疫」です。この「免疫」に深い関係があるとされているのが、「腸内細菌」です。

善玉菌・悪玉菌といった言葉をご存じの方も多いと思います。この腸内細菌である「善玉菌」を増やすことが、自分の免疫力を高めることにつながると言われています。ヨーグルトなどの乳酸菌を含む食品を摂取することや、腸内に住み着いている腸内細菌のエサとなる食物繊維などを摂取することが、善玉菌を増やすことにつながります。

高知県産野菜には、食物繊維を含むニラ・ししとう・サツマイモなど種類豊富にあります。美味しい高知県産野菜を沢山食べて、免疫力を高めましょう。

皆さん、どうぞお元気にお過ごしください。

薬剤師 矢嶋 幸一（メディカル調剤株式会社）



## 土佐町・上田さんのユリ「みもり」が 国際園芸博覧会の特別賞に輝く

オランダで10年に一度開催される「2022年アルメーレ国際園芸博覧会（フロリアード2022）」に、土佐町の花き農家・上田裕介さんが栽培するユリ「みもり」を出展し、花きの品種コンテストで「Floriarade Excellence Award 2022」を受賞しました。同賞は、国際園芸家協会（AIPH）の審査部門とは別に、コンテスト1回ごとに全部門の中から最も優れた1品種だけに与えられる賞。全13回（40部門）で、オランダ以外の国が受賞したのは今回が初めてです。

「みもり」は、嶺北地域が世界で唯一の産地。従来品種「ノーブル」の生みの親である花き農家、藤原厚志さんから球根を分けてもらい栽培したところ、突然変異から同種が生まれ、まな娘の名前から「みもり」と命名。平成28年から本格的に出荷を始めました。



上田さんは、1年ほど前に同大会事務局からの案内で出品を決め、5月下旬から6月中旬にかけて計3回、約2100球を定植。オランダへ送るため、8月22日に収穫、翌日出荷しました。コンテストの審査は9月1日に行われ、翌日表彰式が執り行われました。

上田さんは「ノーブルの生みの親でもある藤原さんのおかげで、光栄な賞をいただけて感謝している。何より、娘の名前をつけた花が受賞したことがうれしい」と笑顔で話していました。次期作から栽培面積を増やす計画で、定植作業は早ければ年内中に行うそうです。



オランダで展示された「みもり」



大野見地区より

## 島ノ川溪谷の絶景の紅葉スポット

### 見に来てや〜!

きおか ひでふみ  
笹岡 英文さん(74)

笹岡自動車を経営されながら「島ノ川溪谷等修景緑化推進委員会」の会長を務める笹岡さん。大野見島ノ川は秋になると紅葉がとてもきれいな場所で、笹岡さんはまだ知られていない紅葉の名所を多くの人に知ってもらいたいという思いで様々な活動を行っています。

昔から写真を撮ることが好きで、笹岡さんが撮影された紅葉の写真がパンフレットにも使われているそうです♪毎年11月初旬には、島ノ川溪谷をランニングやウォーキングをしながら紅葉を楽しむイベントを開催しています！コロナの影響で近年は開催されていませんでしたが、今年は開催するよう計画をしているそうです♪

100年続けていけるように紅葉を増やし、「今もきれいな島ノ川溪谷の水をもっときれいに維持していきたい」と思いを語ってくれました。



※写真の紅葉は  
笹岡さんが撮影されたものです。

## オススメはスパイスカレー♪

### 「喫茶 シーガル」

はしもと たかひろ  
橋本 貴洋さん(43)

四万十町新開町で喫茶店を営む、笑顔がステキな橋本さん。出身は四万十町で、20年以上大阪でファッション関係の仕事や飲食店で働いていましたが、Uターンで地元へ帰ってきたそうです。

40年以上前から母が営んでいる喫茶店を手伝いながら、3年間四万十町地域おこし協力隊に入り、チャレンジショップとして本格なスパイスカレーを提供していました。今年の4月からは母と共に喫茶店を営み始め、好評だったカレーを「喫茶シーガル」で提供！橋本さんが作っているカレーは大阪に居た時、働いていたお店の南インド人が作る本場のスパイスカレーがベースになっており、週替わりでいろいろな味が楽しめます！

地元で愛される喫茶店でスパイシーなカレーをぜひ味わってみてください♪

四万十地区より



お店の詳細は  
Instagramで♪



高西  
地区

# から こんにちわ 今月の○○ 気になる人

梶原地区より

## 冬季大会にむけて!

梶原MBCのみなさん

12月に行われる冬季大会にむけて、練習にも熱の入る『梶原MBC』の活動を取材させていただきました。

平成30年にこれまでのバスケットボール指導からミニバスケットボールクラブ(MBC)として設立し、入部者を募りながら活動されてきたそうで、現在は男子10人女子11人で活動しています。はじめは試合に出ても、勝つことができませんでしたが、5年目になり勝利数も増えてきました。6年生が引退すると、チーム全体の力は下がってしまいましたが、しっかりと引き継いで次のチームでも力を発揮してください!

コーチから一言…「ミニバスを基礎から一緒に学んで、チームとして一緒に成長してみませんか? 次年度に向け新規入部者募集しています。ぜひ一緒にバスケットボールやりましょう!」

## やさしく温かい

## 興津地区の方々に感謝です!

もりた ますみ  
森田 杉彦さん(48)

土佐市出身の森田さんは教員になって25年。興津小学校に赴任して1年目です。

川や湖での釣りが趣味の森田先生ですが、海の近くの学校に勤務するのは初めてとのこと。せっかく海の近くにいるので、「子どもたちに海での釣りを教えてもらい、一緒に釣りができたらいいなあ」と話してくれました。興津地区は気候が暖かく、毎日元気いっぱい子どもたちと楽しく過ごし、優しく迎え入れてくれる地域の保護者の方々に感謝の毎日です。

また、興津地区は農業や漁業に関係している人々が多く、防災の取組みにも力を入れています。子どもたちは社会科や総合的な学習の時間でいろいろな人と出会い、良い学習の機会をいただいています。興津小学校は来年度末で東又小学校と統合するのですが、「それまでにたくさんの思い出を子どもたちと一緒につくっていきいたい!」と爽やかに語っていただきました。インタビュー中にも森田先生の近くにはたくさんの生徒が♪ 大人気の先生です!

興津地区より



# できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



米を積んだトラックが続いています。

## 1 四万十地域

### 今年も盛況！ コントリーエレベーター受け入れ

9月中旬から10月中旬まで四万十町東大奈路のコントリーエレベーターで中生品種の「にこまる」や「ヒノヒカリ」、「びかまる」の受け入れが行われました。お米は国道56号線からも見える大きなサイロのある施設に稲のまま運び込まれ、連日稲を積んだトラックの列が続きました。8月下旬からの早生品種は250tの受け入れがあり、全体では1500tを超える受け入れがありました。

適切な米の管理や安全な稼働のために、管理方法の徹底や人員を増員し、高西地区の各部署からも職員が応援に加わるなど、職員一丸となって受け入れ作業を行いました。

サイロに貯蔵した米は順次糶摺り作業を行い、仁井田米として県内主体に出荷していきます。今年は台風の影響により刈り入れ時期が例年より遅れましたが、品質は良く美味しいお米が出来ていますので、ぜひご賞味ください！



米ナスの調理を行っています。

## 2 津野山地域

### 地域の野菜の魅力を伝える

県立橋原高等学校農業コースの生徒を対象に、津野山地域で栽培される農産物の学習も3回目となりました。今回は雨よけハウスで栽培する米ナス・小ナスについての座学と、同町下西の川で栽培する中越律子さんのハウスでの収穫体験してもらいました。

ハウスでは、制限時間内にマーケティングした米ナスをすべて収穫できるか？に挑戦し、見事5分で17個の米ナスを見つけて収穫！作業場では中越さんから荷造りを教わり、2年生の授業では実際に箱詰めを体験しました。

現地見学・体験を終えた後は、お楽しみ焼き風・ピザ風と小ナスのタタキを準備しました。教室に入る前から、おいしそうな香りにテンションも上がります。「ナスは苦手で食べれない」と言っていた生徒も、美味しく食べる事ができました。

中越さんは「若い世代での就農者が増えてほしい」と話し、こうした活動の中で農業を自分の進路の選択肢に考えてくれるようになればと思います、今後も活動を続けていきます。

## 3 四万十地域

### 協力し合い出荷作業



職員がミョウガのバック詰めを行っています。

9月上旬、四万十町大奈路の出荷場で、津野山地域で生産されたミョウガのバック詰めをJA職員が行いました。高西地区管内で収穫された野菜等については、出荷量が増大し作業に時間を要する時期に、荷物が滞るのを防ぐため各出荷場で協力し合い選別作業等を行っています。

津野山地域のミョウガは、初夏から晩秋にかけて出荷する作型で、東京を中心に東北から九州まで全国各地へ出荷されます。冬は休作期間ですが、年明け1月には次作の植付けを行います。

## 4 津野山地域

### ユズ収穫間近



ユズの収穫が近づいています。

秋の訪れを感じさせる作物の一つ、ユズの収穫が間近となりました。

津野山地域では、平成20年からユズの新植を推進し、現在は約27ヘクタールのほ場で収穫を行っています。今年は前年の豊作から、全体的に着果が少なく夏の猛暑も影響し、果実の日焼けや台風による傷果など、収穫量の低下が懸念されます。

その中でも1果あたりの肥大は例年並みで推移しており、10月下旬から順次収穫を行います。

## 5 四万十地域

### 生姜部会 営農アドバイザー巡回を実施



営農アドバイザーが圃場の確認をしています。

四万十生姜部会は9月14日、15日の2日間にわたり営農アドバイザーによる32ヶ所の圃場巡回を行いました。当日は、営農アドバイザー、営農指導員、県普及員のほか、同行を希望する部会員、また15日には栽培研究会員との合同開催となり、多くの関係者が参加しました。令和4年産の生姜は地下茎の肥大も良く順調に生育していますが、根茎腐敗病の発生圃場も確認され今後の栽培管理についてアドバイザーより助言を頂きました。

同部会では年間を通じて品質の良い生姜を出荷できるよう貯蔵性向上に向けた取り組みにも取り組んでおり、参加した部会員同士で積極的な意見交換も行われ、有意義な時間となりました。

## 6 津野山地域

### 稲の刈り取り最盛期



風に揺れるススキと稲木のある風景

朝晩の気温も下がり、秋の深まりを感じる10月のある日、山あいの小さな谷川に沿った田んぼに津野山の秋の風物詩「稲木」を見つけた。

基盤整備をおこなった田んぼでは、コンバインで刈り取るためほとんど見かけることがなくなりましたが、こうした小さな田んぼでは稲木が活躍しています。農家の方に話を聞くと、「機械で終わらずと楽だけど、やっぱり稲木で干したお米がウマイ！」とのことでした。

刈り取り後の田んぼへは、微生物等の資材を投入し稲わら等の腐熟を促進させ、次年度の品質向上と良品生産に繋がります。

津野山地域より

# 農閑期に『土壌消毒』を しませんか？

津野山地域でナスや土耕ミョウガ、土佐甘とうを栽培する生産者の皆様！連作障害や土壌病害虫を抑えるために、農閑期である12月～3月の間に土壌消毒を実施しましょう。土壌消毒剤によって、対象となる病害虫や使用方法が異なります。下記の「土壌消毒剤の効果と特徴」をご確認の上、土壌消毒を行ってみたいはいかがでしょうか？

【土壌消毒剤の効果と特徴】

剤名	対象病害虫	特徴	規格	価格（税込）
クロピク80	土壌病害虫、一年生雑草 センチュウ類	土壌病害虫全般に効果的 ガス抜きが必要	20L	¥26,316
クロピクフロー	土壌病害虫、一年生雑草 センチュウ類	土壌病害虫全般に効果的 ガス抜きが必要	15L	¥39,273
D-D	センチュウ類 コガネムシ幼虫	センチュウ類に効果的 クロルピクリンよりガス抜きに時間が必要	20L	¥16,580
ソイリーン	土壌病害虫、一年生雑草 センチュウ類	クロルピクリンとD-Dの成分を併せ持つ 病害虫に幅広い効果、ガス抜きが必要	15L	¥25,398
バスアミド微粒剤	土壌病害虫、一年生雑草 センチュウ類	土壌病害虫全般に効果あり	10kg	¥14,322

## ユズの害虫防除について

ユズの害虫であるカイガラムシ類、ハダニは越冬し、次年度に被害を与えることがあります。11月以降、収穫が終わった圃場では害虫の防除対策を行いましょう。津野山ユズ部会では出荷先であるJA馬路村の栽培基準に準じた栽培方法を行うため、化学的に合成された農薬及び肥料は使用できません。有機栽培に準じた栽培管理を行ってください。

使用できる農薬

### ハーベストオイル

（※希釈割合にご注意ください）



カイガラムシ被害

冬期（12月～3月）	60～80倍	200～700ℓ/10a
夏期（6月～7月中旬）	150～200倍	200～700ℓ/10a

※土壌消毒の処理方法及びユズ防除に関するお問い合わせは  
津野山営農経済センター（TEL. 0889-62-2335）までお願いします。



四万十地域より

## 施設園芸の「節油対策」について

現在、世界情勢により様々な生産コストが高騰しております。そんな中冬場の重油代を少しでも低減するため、今のうちに加温機のメンテナンスや施設内の保温性向上技術等に取り組んでみませんか？

### ●暖房機の缶体の掃除

A重油に含まれる不純物は燃焼後にカスとして缶体内に溜まります。カスが多く缶体内に溜まると暖房機の熱効率の低下やバーナーの不完全燃焼の原因となります。また、長期間放置しておく缶体の腐食を助長することがあります。熱効率を維持するため、また缶体を長持ちさせるためにも、1年に1回は、必ず缶体の掃除を行いましょう。

※暖房機についてはメーカーや種類によってメンテナンス方法が異なる場合があるため、暖房機に付属されている取扱説明書をよくご覧になり、適切な方法でメンテナンスを行ってください。

### ●気密性の向上

温室の保温効果を高めるためには被覆面に隙間を作らないことが大切で、固定被覆資材や内張カーテンの隙間を少なくし、気密性を高めることは、経費をかけずにできる放熱を抑制する方法です。

被覆資材には経年劣化があり、水滴の落下（ぼた落ち）が発生するようになると、作物への悪影響が生じるようになりますので、被覆資材の状態を確認した上で定期的に更新する必要があります。

#### (1) 外張被覆の点検

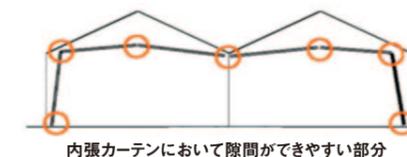
温室の隙間や破れからの放熱は日頃の点検で大部分を防ぐことができますので、見つけ次第すぐに対処して温室内の保温性を高めましょう。

#### (2) 内張カーテンの点検

温室内に内張カーテンを展張することで温室の保温効果が一層高まります。

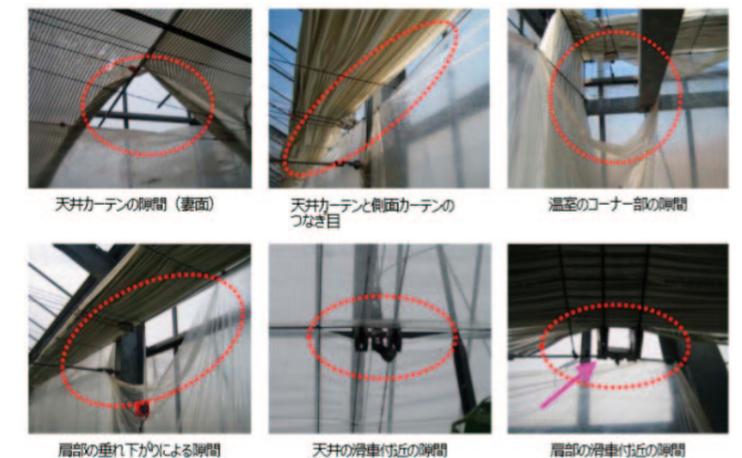
#### (3) 内張カーテンの点検・対策のポイント

下図のとおり、側面のカーテンの裾部、出入口付近や妻面、側面と天井面のつなぎ目、温室の谷間部の隙間を日頃から点検し、保温性を確保しましょう。



内張カーテンにおいて隙間がしやすい部分

&lt;内張カーテンの隙間（例）&gt;



◎問い合わせ先：四万十営農経済センター 営農指導課（TEL. 0880-22-5179）

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

# みんなのひろば

## 俳句

霧の里句会

防虫のへり飛ぶ朝赤とんぼ  
出揃ひの稲朝露を抱きけり

市川 和美

熟れ色に濃淡みせて稲穂波  
そえみみず越ゆる七子峠の霧深し

長谷部 延子

秋茜わが立ちどころ集ひ来て  
木陰より高砂百合の天めざす

今橋 孝子

送られしごとうで賑わふ夕食後  
それぞれと急かされ出れば秋の空

竹内 春猪

額縁のごとく色どる彼岸花  
秋の夜野良犬姿見あたらす

田中 信子

## 短歌

窪川短歌教室

おそろひの荷を背負ひつつ真夏日の国道を行く男女の遍路

黒岩 やよえ

青深く霞みて遠き山の峰夏雲の浮く空に溶けゆく

文野 見枝子

病院の待合に見る夫婦にもそれぞれあるをそれとなく知る

中内 佐登美

雨の日の納屋の軒下ずぶぬれの蓑をぬぎいし祖父の偲ぶる

島岡 紀美

濡れにつつやさしき様に揺れて咲く百合の黄の花くれないの花

市川 隆子

あの角の（喫茶田園）すでになく昭和のをみないよ旧りゆく

市川 浩子

草原の少年なりし逸ノ城努力積み上げ賜杯を抱く

北村 さちこ

## 俳句

おたよりから

南向き終わったはずの彼岸花

(津野町・弘瀬 秀頼)

マスクして顔を隠せば一安心

(四万十町・中内 佐登美)

### INFORMATION

## お知らせ

## 献茶スタッフ(パート・アルバイト)募集

**仕事内容** 葬祭会場での準備・接客・掃除等  
お通夜等 3,000円 ~  
お葬儀 5,000円 ~  
\*未経験者可  
\*詳しくは下記までお問い合わせください。

**お問い合わせ** JAメモリアルこうち四万十営業所  
(JA葬祭ルミエール四万十)  
四万十町榊山町9-7  
TEL 0880-22-5900